

## 外来機の暫定配備に抗議し、即時撤去を求める抗議決議

報道によると、7月12日、米軍三沢基地所属のF-16戦闘機27機が米軍嘉手納基地に飛来した。同基地より7月13日に2機が追加飛来、7月14日にはAV-8Bハリアー攻撃機2機も米軍岩国基地より飛来し、3日連続での外来機配備となった。同日、F-16戦闘機13機が飛びたったが、残りの外来機の目的や期間などは不明である。

7月12日、三連協により嘉手納飛行場周辺の3カ所での目視調査が行われ、最大102.4デシベルを観測したとのことである。

近年の嘉手納基地では周辺自治体の負担を軽減するためとしてF-15戦闘機の飛行訓練を一部グアムなどに移転しているが、外来機の飛来により騒音被害が増加し、米軍再編協議における負担軽減とは逆行している現状が浮き彫りとなっている。基地周辺住民は、航空機騒音被害に悩まされ、日常生活に甚大な悪影響を及ぼしており、いかなる理由があるにせよ到底容認できるものではない。加えて、日米間の航空機騒音規制措置で運用が制限される午後10時を大幅に超えた飛行を行うなど、常軌を逸した米軍の横暴ぶりに激しい憤りを禁じえない。

よって、本町議会は、町民及び県民の生命、財産、安全、平穏な生活を守る立場から関係機関に対し、厳重に抗議するとともに、下記事項について速やかに実現するよう強く要求する。

### 記

- 1 軍用外来機の飛来を禁止し、暫定配備を中止するとともに即時撤去すること。
- 2 全ての基地の機能強化をしないこと。
- 3 騒音防止協定を遵守すること。
- 4 日米地位協定の抜本的な改定を早急に行うこと。

以上、決議する。

平成28年8月2日

沖縄県中頭郡北谷町議会

あて先

米国大統領 米国国防長官 米国国務長官 駐日米国大使  
米太平洋軍司令官 在日米軍司令官 在沖米四軍沖縄地域調整官  
嘉手納基地第18航空団司令官 在沖米国総領事

## 外来機の暫定配備に抗議し、即時撤去を求める意見書

報道によると、7月12日、米軍三沢基地所属のF-16戦闘機27機が米軍嘉手納基地に飛来した。同基地より7月13日に2機が追加飛来、7月14日にはAV-8Bハリアー攻撃機2機も米軍岩国基地より飛来し、3日連続での外来機配備となった。同日、F-16戦闘機13機が飛びたったが、残りの外来機の目的や期間などは不明である。

7月12日、三連協により嘉手納飛行場周辺の3カ所での目視調査が行われ、最大102.4デシベルを観測したとのことである。

近年の嘉手納基地では周辺自治体の負担を軽減するためとしてF-15戦闘機の飛行訓練を一部グアムなどに移転しているが、外来機の飛来により騒音被害が増加し、米軍再編協議における負担軽減とは逆行している現状が浮き彫りとなっている。基地周辺住民は、航空機騒音被害に悩まされ、日常生活に甚大な悪影響を及ぼしており、いかなる理由があるにせよ到底容認できるものではない。加えて、日米間の航空機騒音規制措置で運用が制限される午後10時を大幅に超えた飛行を行うなど、常軌を逸した米軍の横暴ぶりに激しい憤りを禁じえない。

よって、本町議会は、町民及び県民の生命、財産、安全、平穏な生活を守る立場から関係機関に対し、厳重に抗議するとともに、下記事項について速やかに実現するよう強く要請する。

### 記

- 1 軍用外来機の飛来を禁止させ、暫定配備を中止するとともに即時撤去させること。
- 2 全ての基地の機能強化をさせないこと。
- 3 騒音防止協定を遵守させること。
- 4 日米地位協定の抜本的な改定を早急に行うこと。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成28年8月2日

沖縄県中頭郡北谷町議会

あて先

衆議院議長    参議院議長    内閣総理大臣    外務大臣    防衛大臣  
沖縄及び北方対策担当大臣    外務省特命全権大使（沖縄担当）    沖縄防衛局長